

MANAGEMENT 3.0

CHANGE AND INNOVATION PRACTICES

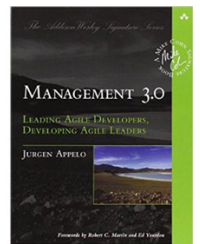
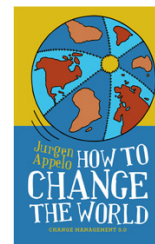
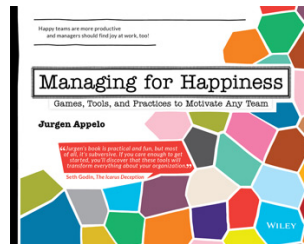
【認定証発行】2日間 Management 3.0 ワークショップ

アジャイル・リーダーシップ、人の相互作用へのコミット、チェンジ・マネジメント実践

2017年4月7日～2017年4月8日、10:00～18:00、東京

イベント概要

Management 3.0の考案者の Jurgen Appelo は「科学的検証になり幸せな従業員はより生産的ということがわかりました。」と言います。アジャイルマネジメントは見落とされがちな部分です。チームメンバー、ソフトウェアプロフェッショナル、プロジェクトマネージャーには、アジャイルのあり方や行動方法について多くの情報がありますが、マネージャーやリーダーにとってはほとんど情報がありません。



けれども、企業がアジャイル導入するときに、チームメンバーやプロジェクトマネージャーだけが新しく実践を学ぶのみならず、リーダーやマネージャーも新しいマネジメントとリーダーシップ精神を学ぶ必要があります。

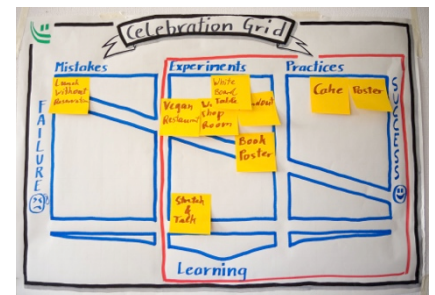
この2日間のワークショップ経験を通して具体的な活動が学べます。そしてすぐにオフィスで試してみることによって人の相互作用のコミットメントが上がり、御社を改革できます。イベントは、この原則沿っています：細分化した理論と演習、明確で効果的なビジュアル、感動的な物語、グループ議論、面白い活動やゲームによって結果を実感できる具体的な実践をご提供します。

ワークショップの構造

(本ワークショップは英語で進行します。通訳はありませんが、アシスタントがみなさまを日本語でサポートします。)

1日目

1. マネジメントとリーダーシップは、Management 3.0の2つのうちの1つです。Management 1.0と2.0と3.0の違いについて学びます。
2. 複雑性の考え方は、Management 3.0のもう1つの基本要素です。複雑性の理論が何であるか、そして複雑性に対する8つのガイドラインについて学びます。
3. 人の相互作用のコミットを与えることは、チームメンバーが従事していること、動機づけられていること、幸せであることを確認することです。内発的な動機と外発的な動機の違い、10の本質的な欲求、チームメンバーにとって重要なことを理解するための一般的なテクニックについて学びます。
4. チーム・エンパワーメントは自己組織化の鍵です。マネージャーだけの権限ではなく、全員の責任において、「より少ないマネージャーでより良いマネジメント」ができます。どのように7つの権限レベルと権限ボードにおける権限移譲が可能かを学びます。



2 日目

1. 共通の価値観と文化を通してのみ自己組織化ができます。人々に明確な目的を与え、目標を設定し、制約を調整する方法を学びます。人々に明確な目的を与え、目標を設定し、制約を調整し、生き生きとさせるよう支援することによって価値を発見する方法を学びます。
2. チームの能力開発は現在の急速に変化する世界では重要です。一人二業スキル・ボードを使用して、能力開発と能力向上のスキルレベルと手法を学びます。
3. 会社組織のスケールアップは、協力を強化する構造を検討することが重要です。組織構造をフラクタルとして成長させ、専門化と一般化とのバランスを取る方法、職能横断型チームやクロスファンクショナルチームのどちらを選択するか、価値ネットワークの価値単位としてチームを扱う方法を学びます。
4. 成功と失敗によって改善することは重要です。失敗を祝う方法と、なぜ実験を行うことが重要であるか、そのような実験をマネジメントする方法を学びます。



参加特典

- Jurgen Appelo が署名した Management 3.0 認証
- ワークショップに参加すると、Management 3.0 ファシリテーターになれる
- PMI 認証に向けた 16 PDU と 16 ACP の単位が申請できる
- すべての使用済み資料のデジタルコピーを与えられる
- Jurgen Appelo 著「Managing for Happiness」
- ドリンク、スナック、2 ランチ



プロフィール



ステファン ニュースペリング

ステファンは NuWorks 合同会社の設立者でチェンジエージェントです。また、日本で唯一の Management 3.0 ファシリテーターとして認定されています。企業や個人をコーチすることを通して、仕事を改善すること、高性能チームを作ること、やりがいのある仕事を作ることを能力引き出します。多国的ハイテク企業のプロジェクトリーダー、地域担当マネージャー、アジャイル・トランスフォーメーション・コーチとして活躍してきました。日本、韓国とドイツのアジャイルソフトウェア開発でマネジメントを行ってきました。また、アジャイルコミュニティにおいて、ブログを発信、会合を組織、Regional Scrum Gathering や Agile Japan などのカンファレンスで講演するなど、活躍しています。

高性能チームの成功の鍵は自己組織化ですが、大小さまざまなワークショップを通して、日本企業をアジャイル・リーダーシップや Management 3.0 のイノベーション実践に適切な改変できるようにします。



鬼木 哲郎

"いい"プロダクトは"いい"チームから生まれる、そう信じてチームのパフォーマンスを最適化することに特化した変革支援活動をカタリスト（アジャイルコーチ）として行っています。（認定スクラムマスター）直近では以下の活動を行っています。

- 新規開発チームの立ち上げ
- 既存チームに対する開発プロセスの再構築
- 海外開発拠点の立ち上げ（日本↔海外拠点で並行開発が行えるように業務構築）
- スクラムフレームワークの導入支援
- 各種コーチング、メンタリング、ファシリテーション、企業内ワークショップ